

令和7年度第3回大磯町行政改革推進委員会 結果概要

- 日 時 令和8年1月21日（水）午前10時00分から午前11時00分まで
- 場 所 大磯町役場4階第1会議室
- 出席者 三浦委員長（学識経験者）
丸山委員（町政等に関する識見者）、古正委員（町政等に関する識見者）
- 事務局 政策総務部参事（政策担当）兼政策課長、政策課担当職員
- 傍聴者 5名
- 議題 （1）大磯町第3次行政経営プランの策定について

○会議記録

1 あいさつ

（1）委員長あいさつ

本日の委員会での議題は「大磯町第3次行政経営プランの策定について」である。本日は前回からの引き続きで、大磯町第3次行政経営プラン（素案）に対する答申について審議する。

事務局と相談して答申（案）を作成したので、答申（案）を参考に行政改革に向けた意見を示していければと思う。行政経営プランの取組みによる成果をより高めていけるよう、委員の皆さんからも忌憚のないご意見をいただければと思うのでよろしく願います。

2 議題

（1）大磯町第3次行政経営プランの策定について

- ・ 資料1及び参考資料1をもとに、大磯町第3次行政経営プランの素案及び答申案について説明し、次のとおり質疑応答が行われた。

◎ 社会経済情勢の変化が激しく、5年先を見通すことが厳しい中で本計画を策定するため、必要に応じて臨機に見直しを図りながら計画目標を達成に努めてもらうことを「1 計画の推進に向けて」の部分で答申案に記載してもらいたい。

また、「2 財源確保の取組みについて」で民間経営の視点についても記載し、第五次総合計画後期基本計画と表現を合わせて記載してもらいたい。

そして、「3 事務の効率化の取組みについて」で、基本的に答申案に書かれていることは職員向けの視点が多い。そのため、事務の効率化の取組みを進めることが町民の皆様にとってどのような効果があるかを伝えるような形にしてほしい。本

プランにどう記載するかは別として、何らかの形で町民の皆様には伝わるような文言として加えていただきたい。取組みを進めることで職員一人ひとりが能力を十分に発揮できるようになるということを記載してもらいたい。(委員)

◎ 「3 事務の効率化の取組みについて」で数字として算出するのは難しいかもしれないが、成果が見える化するの大事だと考える。(委員)

○ 本日欠席の委員には事前に資料送付をして、前回の発言内容も含めて確認いただき、特段のご意見はなかった。

それを踏まえて委員から大きく3点のご指摘があった。

1点目は「1 計画の推進について」で、社会経済情勢の変化等で5年先の想定が見込みづらいため、柔軟に計画を見直すことも視野に入れた方が良いというご意見をいただいた。答申案に書き加えさせていただく。

次に、2点目の「2 財源確保の取組みについて」の歳出削減の段落で、民間活力の導入に加えて「民間経営の視点について」のご意見をいただいた。これは、前回の委員会でも委員からご意見としていただいているため、答申案に加えさせていただく。

最後に、3点目の「3 事務の効率化の取組みについて」は、職員向けの視点で答申案には記載している。真に必要なサービスを維持するために、デジタル化等により事務の効率化の取組みを進めることで、町民対応への時間を増やしていきたいという目的が根本にあるため、素案にも記載している。基本的には、第五次総合計画後期基本計画の実効性を担保するための計画として位置づけているが、素案の策定段階で庁内や町議会からも、町民の利便性などを低下させることなく、行政経営の視点を踏まえてもらいたいという意見もいただいているため、答申案の最終段落の「併せて～」の前の部分での記載を考えている。(事務局)

◎ ただいま委員からいただいたご意見の内容を答申に追加することでより内容が具体的になると思う。(委員長)

○ ご意見いただいた内容で修正する。修正までお時間をいただきたい。(事務局)

・ 参考資料2及び参考資料3をもとに、事務の効率化の取組み(効果実績)及び大磯町第3次行政経営プラン実施計画(進行管理)書(案)について説明し、次のとおり質疑応答が行われた。

◎ 参考資料2の効果実績を見ると、事務の効率化の取組みによる職員への効果はかなり高く、町民にもプラスになっていると実感できるため、効果が委員だけではなく、町民にも伝わるような形で示してもらえると良いと思う。(委員)

○ 次回の行政改革推進委員会では、第2次行政経営プランの実績報告書の中で事務

の効率化の取組みによる金額として示すことを考えている。(事務局)

- ◎ 参考資料2の算出した金額で令和5年度は380万円、令和6年度は360万円とあるが、平均としてはこれぐらいの金額となるのか。(委員)
- 現在、金額として算出できる取組みが「RPA、AI-OCR」、「AI議事録作成支援システム」の2つであり、実績としては360～380万円の見込みだが、今後取組みを増やすことで効果額を増やすことができるよう町として進めていきたいと考えている。(事務局)
- ◎ 前回、効果実績を削減時間として算出してもらったが、数値(可能な範囲で金額)として算出することで職員のやりがいやモチベーションの向上にもつながる。また、今後の進行管理や実施計画に記載することによって、町民に対して町は先進的なことに取り組んでいるというアピールにもつながる。(委員長)
 - ・ 委員からの意見を参考に、事務局にて答申(案)の修正を行い、修正案を配布。事務局より修正事項の確認(修正案の下線部)を行い、次のとおり意見提案及び質疑応答が行われた。
- ◎ 裏面の上から2行目の「ここで本プランを策定することになるが、～」の部分で「なりますが、～」に変更した方が良い。(委員長)
- ご意見のとおり修正する。(事務局)
 - ・ 委員からの意見を参考に、事務局にて答申(案)の再修正を行い、再修正案の内容にて答申書とすることで決定した。

3 その他

- ・ 事務局から次回の行政改革推進委員会の日程について事務連絡を行った。

[会議終了後、三浦行政改革推進委員会委員長から池田大磯町長へ「第3次行政経営プラン(素案)について」の諮問に対する答申書が提出された。]

以上